

工業経営研究学会 会員の皆様

工業経営研究学会 環境経営学研究分科会
(主査)鈴木 幸毅、鶴田 佳史 (副査)宇山 通
(事務局)下畑 浩二、加藤 秋人、森田 聡
事務局連絡先 Email: shimohata-k@soai.ac.jp

分科会ウェブページ: http://asimj.jp/wordpress/?page_id=3337

工業経営研究学会 環境経営学研究分科会

2025 年度夏季例会

2025 年 8 月 9 日(土) オンライン開催(10:30-12:15)

来る 8 月 9 日(土曜日)、環境経営学研究分科会夏季例会をオンラインにて開催いたします。1つの研究報告、分科会メンバーの新刊図書案内、ワークショップを行い、その後に臨時総会として当研究分科会の運営に関することを審議し、決定いたします。万事お繰り合わせの上、ご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。

Microsoft Teams による実施:

例会用リンクは、会員用 ML による当例会の開催通知(7 月 30 日配信)に掲載しています。

スケジュール

研究報告: 10:30-11:20

題目「高付加価値化を支える SDGs とソーシャルネットワークの重要性 -掛川市の製茶業の事例を通じて-」

報告者: 園田 陽一(学校法人群馬総合カレッジ国際産業技術専門学校 / 明治大学)

司 会: 下畑 浩二(相愛大学)

新刊紹介 11:20-11:30

下畑浩二・佐々木純一郎編著(2025)『日本経営学会東北部会発 企業家活動と高付加価値』、文眞堂。
※執筆者 7 名のうち 4 名が環境経営学研究分科会のメンバー

紹介者: 下畑浩二(相愛大学)、園田陽一(学校法人群馬総合カレッジ国際産業技術専門学校 / 明治大学)、加藤秋人(敬愛大学)

工業経営研究学会環境経営学研究分科会のメンバーが担当した章

下畑 浩二: 序文「地域中小企業による高付加価値をもたらす取り組み」、第 1 章「中小企業が置かれた状況」、第 3 章「分析枠組」

園田 陽一: 第 4 章「地域企業の環境配慮型経営による高付加価値化 -掛川市の茶業を事例として-」

加藤 秋人: 第 6 章「中小企業連携による生産活動・経営の革新 -神戸エアロネットワークを事例として-」

森田 聡(北陸大学): 第 7 章「クラスター形成による製品の高付加価値化」、補章「製品・サービスの高付加価値化」

ワークショップ: 11:30-12:00

「環境保全技術の動向と課題(自動車産業と航空機産業)」

座長：下畑 浩二(相愛大学)、加藤 秋人(敬愛大学)

環境対応が喫緊の課題である自動車、航空機の両産業から、次世代車・機の技術開発や普及に関する課題の解決、更には軽量化技術や持続可能な燃料の活用を話題とし、今後の研究課題について検討する。

臨時総会: 12:10-12:15

司会：鶴田 佳史(大東文化大学)、宇山 通(日本大学)

- ・事務局メンバーの入れ替え
- ・第40回全国大会時の研究分科会について

以上